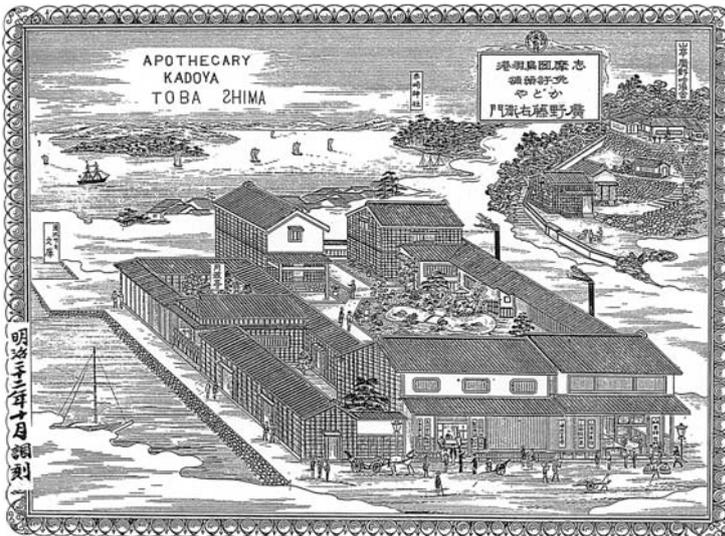


すこやかに とばごげんきんこ vol.30

AK 絵



11月には、七五三があります。こういった行事に参加することは、こどもが昔からの風習などを学べる、とても良い機会になると思います。七五三に限らず、年中行事などにはできるだけ参加してあげたいですね。



広楽園の藤之台十三層塔

JR鳥羽駅の横には、昭和49年まで日和山エレベーターがあり、そのエレベーターを昇つてすぐの高台は、もともと広野家の土地でした。

8代目藤右衛門は明治44年7月、鉄道が鳥羽まで開通したのを機に、この高台へ観光客のために「広楽園」という見晴らし公園を造り、「松島にまさる海山みわたしのひろく楽しき園はこの園」と宣伝しました。

当時の絵葉書が残っており、それには、「志摩國鳥羽港廣楽園藤之臺十三層塔 藤澤樟脳（藤沢薬品工業株式会社の前身）之寄贈」と記されており、薬屋を営んでいた広野家の全盛期を語る資料となっています。

よみがえる「鳥羽」をみる

Vol.30

江戸時代には「大庄屋」も務め、鳥羽随一の資産家といわれた広野家。平成16年に市に寄贈された広野邸から、さまざまな鳥羽の昔の姿が見えてきます。

現在の石の塔
市内の個人宅で大切に
管理保存されています



当時の絵葉書
13重の石の塔が写っています



編集と発行

鳥羽市総務課秘書広報係
〒517-0011 鳥羽市鳥羽三丁目1-1 ☎0599-25-1114
ホームページhttp://www.city.toba.mie.jp/
Eメール koho@city.toba.mie.jp

資源保護のために再生紙を使用しています。

角谷 あれ、この写真、アサギマダラやん。
澤田 取材で神島に行ったときまたま撮ったんですけど、角谷さん知ってるんですか？
角谷 うん、渡り鳥みたいに長距離を移動するチョウで、この時期、神島へ羽を休めにやってくることで有名だよ。
澤田 知らなかったなあ。
角谷 あっ、電話や。もしもし、はいはい、えっ！
澤田 何かあったんですか？
角谷 さっき、市役所の裏にアサギマダラが飛んどったって！神島だけやと思ってたわ。
澤田 へえ。探してみれば市内のいろんなところで見られるかもしれないね。

編集後記

広報マン

アサギマダラ